

西脇市の特徴について

1. 地勢、土地利用等

(1) 地勢

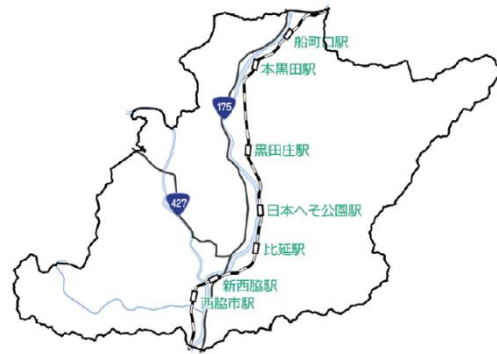
本市は、西脇地区、津万地区、日野地区、重春地区、野村地区、比延地区、芳田地区、黒田庄地区からなり、兵庫県のほぼ中央部、東経135度と北緯35度が交差する「日本列島の中心」に位置しています。

地形的には、中国山地の東南端が播磨平野に接する地点にあり、標高 200～ 600mの山々・丘陵に囲まれており、加古川、杉原川、野間川が流れ、川沿いの平野部に集落が形成されています。

交通条件は、南北に国道 175号が走り、中国自動車道と接続しています。市中心部から北西部にかけて国道 427号が走っています。鉄道については、加古川沿いにJR加古川線が通り、山陽本線加古川駅と福知山線谷川駅を結んでいます。



出典：第 2 次西脇市総合計画



出典：第 2 次西脇市総合計画

西脇市位置図

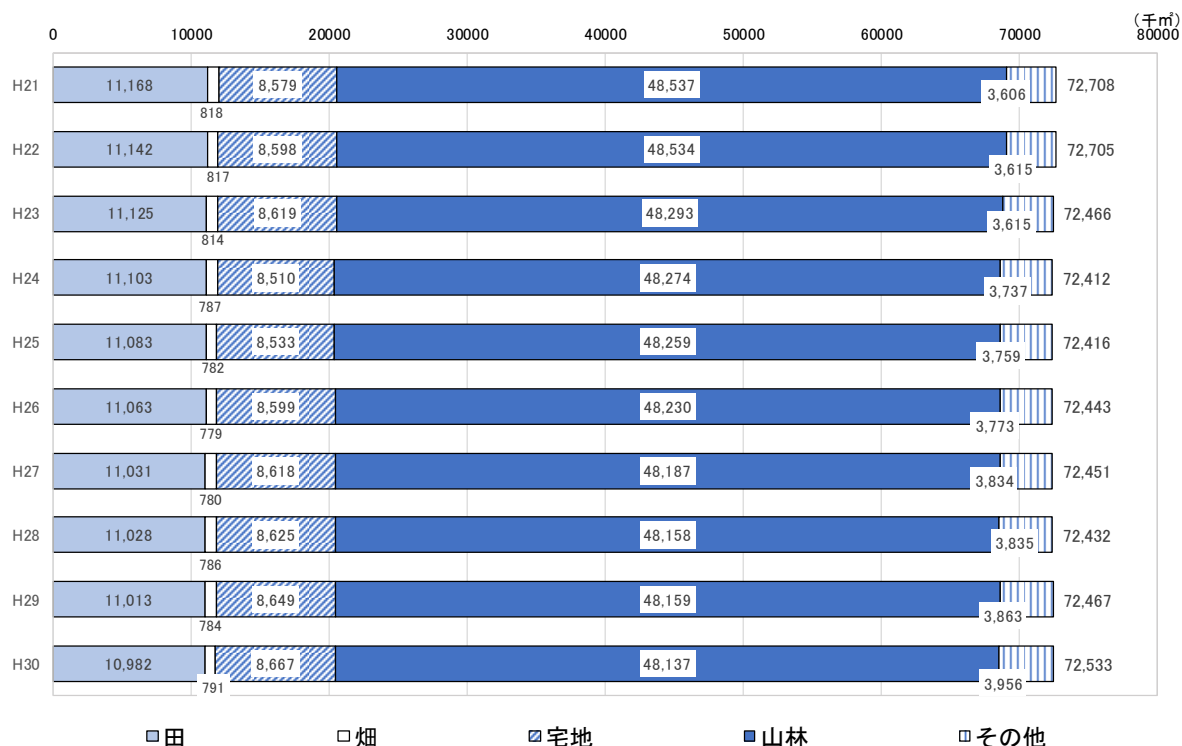


出典：平成 30 年西脇市環境基本計画(中間見直し)

(2) 土地利用等

本市の地目別土地利用面積は、田が 10,982 千㎡(全体の 15.1%)、畑が 791 千㎡(全体の 1.1%)、宅地が 8,667 千㎡(全体の 11.9%)、山林が 48,137 千㎡(全体の 66.4%)、その他が 3,956 千㎡(全体の 5.5%)となっています。
(平成 30 年 1 月 2 日)

地目別土地利用面積(有租地面積)



出典:市統計書(平成30年版)の総務部税務課(各年1月2日現在)

地目別土地利用面積(有租地面積)割合表

年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
田	15.4%	15.3%	15.4%	15.3%	15.3%	15.3%	15.2%	15.2%	15.2%	15.1%
畑	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%
宅地	11.8%	11.8%	11.9%	11.8%	11.8%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%	11.9%
山林	66.8%	66.8%	66.6%	66.7%	66.6%	66.6%	66.5%	66.5%	66.5%	66.4%
その他	5.0%	5.0%	5.0%	5.2%	5.2%	5.2%	5.3%	5.3%	5.3%	5.5%

出典:市統計書(平成30年版)の総務部税務課(各年1月2日現在)

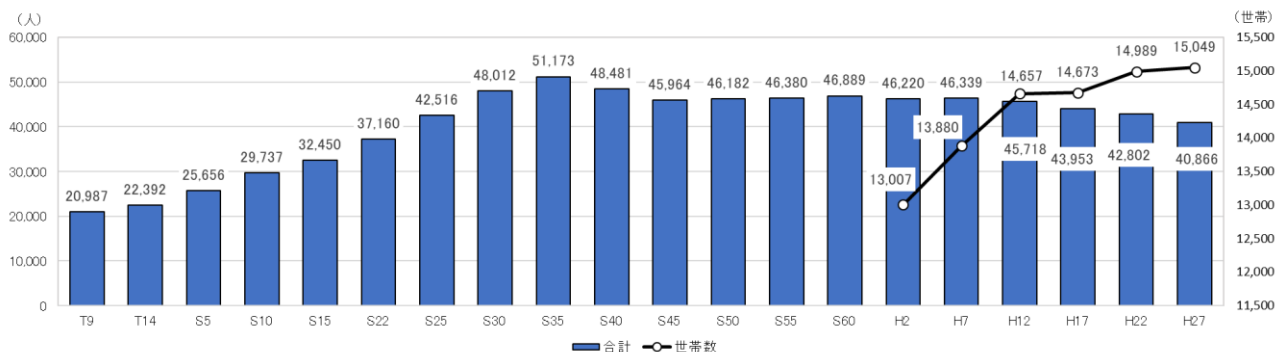
2. 人口・世帯数

(1) 人口

本市の人口は40,866人、世帯数は15,049世帯となっています(平成27年10月)。

大正9年から昭和35年までは、人口が増えています、それ以降は減少傾向にあります。世帯数は、増加傾向にあります。

人口及び世帯数の推移



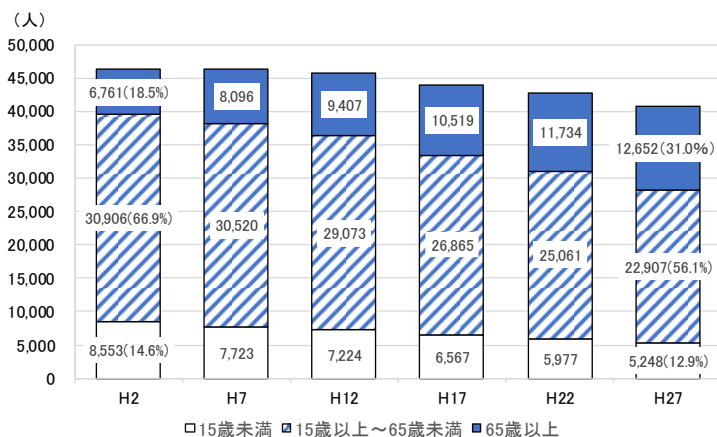
出典:市統計書より国勢調査、国勢調査

※大正9年～昭和25年の人口は、旧多可郡西脇町、日野村、重春村、比延庄村を合計したものです。

(2) 年齢3区分別人口の推移

本市の年齢3区分人口は、15歳未満が5,248人(全体の12.9%)、15歳以上～65歳未満が22,907人(全体の56.1%)、65歳以上が12,652人(全体の31.0%)となっています(平成27年10月)。15歳未満、15歳以上～65歳未満の人口は減少、65歳以上は増加しており、65歳以上が占める割合が3割を超えています。

年齢3区分別人口の推移



出典:市統計書より国勢調査

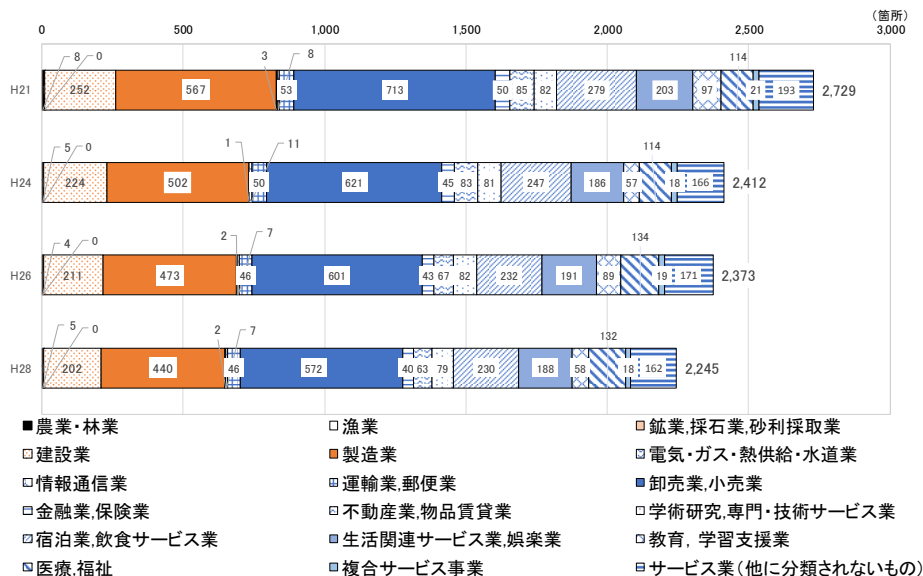
※平成2年～は、旧多可郡黒田庄町を合計したものです。

3. 産業

(1) 産業大分類 事業所数

本市の大分類での事業所数で最も多いものは、卸売業、小売業572箇所(全体の25.5%)、次に製造業440箇所(全体の19.6%)となっています(平成28年)。全体的に減少傾向にあります。

産業大分類 事業所数



出典:市統計書(平成30年版)より経済センサス-基礎調査及び活動

産業大分類 事業所数割合表

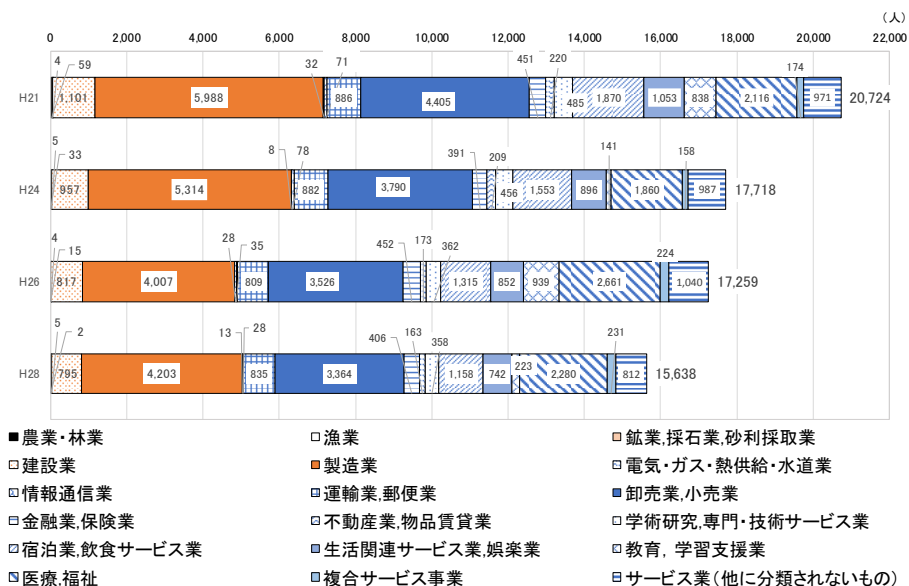
年	H21	H24	H26	H28
農業・林業	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
漁業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	9.2%	9.3%	8.9%	9.0%
製造業	20.8%	20.8%	19.9%	19.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%
情報通信業	0.3%	0.5%	0.3%	0.3%
運輸業、郵便業	1.9%	2.1%	1.9%	2.0%
卸売業、小売業	26.1%	25.7%	25.3%	25.5%
金融業、保険業	1.8%	1.9%	1.8%	1.8%
不動産業、物品賃貸業	3.1%	3.4%	2.8%	2.8%
学術研究、専門・技術サービス業	3.0%	3.4%	3.5%	3.5%
宿泊業、飲食サービス業	10.2%	10.2%	9.8%	10.2%
生活関連サービス業、娯楽業	7.4%	7.7%	8.0%	8.4%
教育、学習支援業	3.6%	2.4%	3.8%	2.6%
医療、福祉	4.2%	4.7%	5.6%	5.9%
複合サービス事業	0.8%	0.7%	0.8%	0.8%
サービス業(他に分類されないもの)	7.1%	6.9%	7.2%	7.2%

出典:市統計書(平成30年版)より経済センサス-基礎調査及び活動

(2) 産業大分類 従業者数

本市の大分類での従業者数で最も多いものは、製造業4,203人(全体の26.9%)、次に卸売業、小売業3,364人(全体の21.5%)となっています(平成28年)。製造業と卸売業、小売業が比較的大きく減少しています。

産業大分類 従業者数



出典: 市統計書(平成30年版)より経済センサス-基礎調査及び活動

産業大分類 従業員数割合表

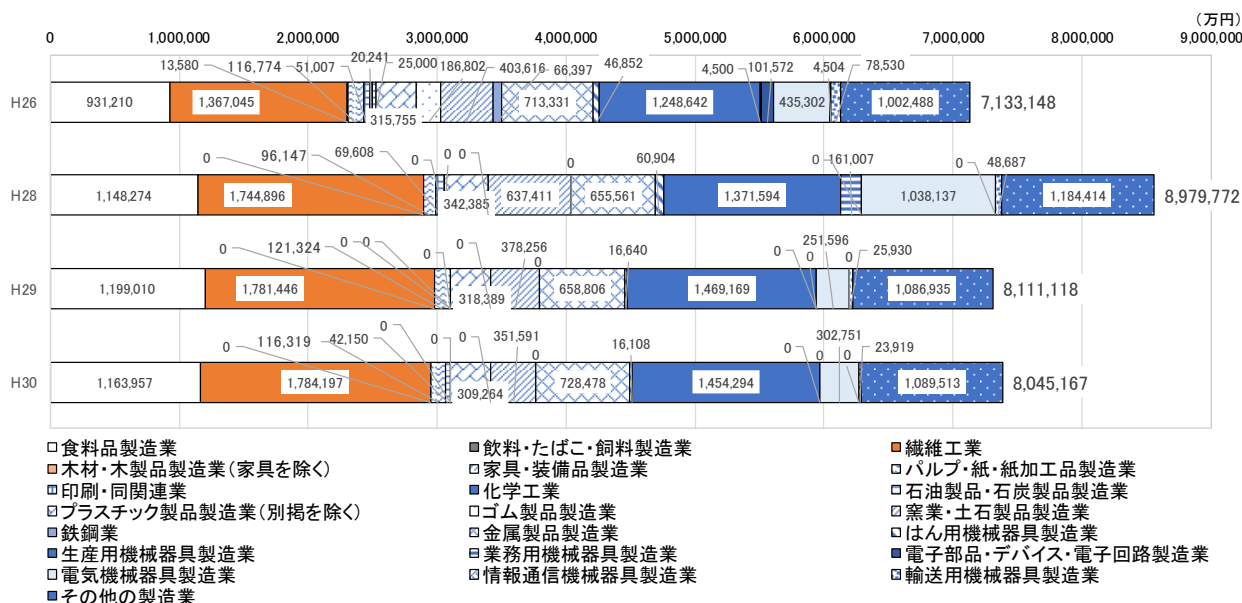
年	H21	H24	H26	H28
農業・林業	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%
漁業	-	-	-	-
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	5.3%	5.4%	4.7%	5.1%
製造業	28.9%	30.0%	23.2%	26.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.2%	0.0%	0.2%	0.1%
情報通信業	0.3%	0.4%	0.2%	0.2%
運輸業, 郵便業	4.3%	5.0%	4.7%	5.3%
卸売業, 小売業	21.3%	21.4%	20.4%	21.5%
金融業, 保険業	2.2%	2.2%	2.6%	2.6%
不動産業, 物品賃貸業	1.1%	1.2%	1.0%	1.0%
学術研究, 専門・技術サービス業	2.3%	2.6%	2.1%	2.3%
宿泊業, 飲食サービス業	9.0%	8.8%	7.6%	7.4%
生活関連サービス業, 娯楽業	5.1%	5.1%	4.9%	4.7%
教育, 学習支援業	4.0%	0.8%	5.4%	1.4%
医療, 福祉	10.2%	10.5%	15.4%	14.6%
複合サービス事業	0.8%	0.9%	1.3%	1.5%
サービス業(他に分類されないもの)	4.7%	5.6%	6.0%	5.2%

出典: 市統計書(平成30年版)より経済センサス-基礎調査及び活動

(3) 製造品出荷額

本市の工業における製造品出荷額で最も多いものは、繊維工業1,784,197万円、次に生産用機械器具製造業1,454,294万円(平成30年)となっています。

製造品出荷額



出典:平成28年のみ経済センサス-活動調査、それ以外は工業統計

※平成26年～平成30年で共通して0の値を示すものは、図から削除しています。

表 製造品出荷額

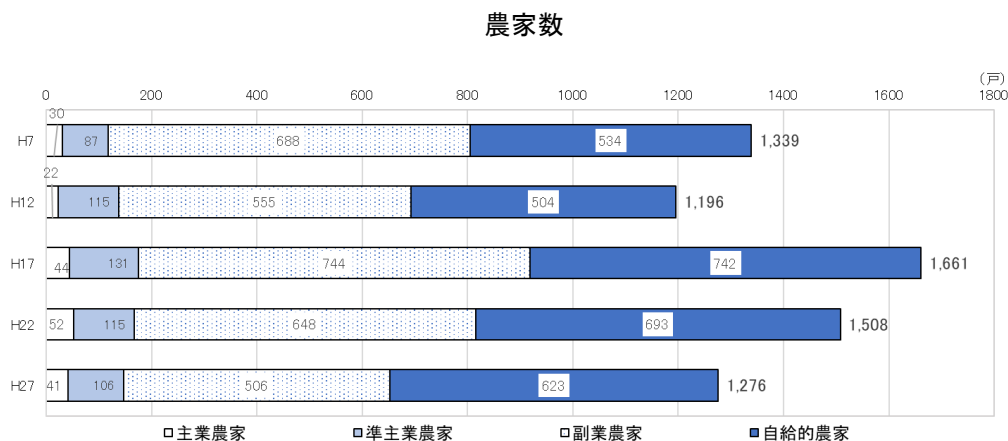
	(万円)			
年	H26	H28	H29	H30
製造業計	7,133,148	8,979,772	8,111,118	8,045,167
食料品製造業	931,210	1,148,274	1,199,010	1,163,957
飲料・たばこ・飼料製造業	-	X	X	X
繊維工業	1,367,045	1,744,896	1,781,446	1,784,197
木材・木製品製造業(家具を除く)	13,580	X	X	X
家具・装備品製造業	X	-	X	X
バルブ・紙・紙加工品製造業	116,774	96,147	121,324	116,319
印刷・同関連業	51,007	69,608	X	42,150
化学工業	20,241	X	X	X
石油製品・石炭製品製造業	25,000	X	X	X
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	315,755	342,385	318,389	309,264
ゴム製品製造業	186,802	X	X	X
窯業・土石製品製造業	403,616	637,411	378,256	351,591
鉄鋼業	66,397	X	X	X
金属製品製造業	713,331	655,561	658,806	728,478
はん用機械器具製造業	46,852	60,904	16,640	16,108
生産用機械器具製造業	1,248,642	1,371,594	1,469,169	1,454,294
業務用機械器具製造業	4,500	161,007	X	X
電子部品・デバイス・電子回路製造業	101,572	X	X	X
電気機械器具製造業	435,302	1,038,137	251,596	302,751
情報通信機械器具製造業	4,504	-	X	X
輸送用機械器具製造業	78,530	48,687	25,930	23,919
その他の製造業	1,002,488	1,184,414	1,086,935	1,089,513

出典:平成28年のみ経済センサス-活動調査、それ以外は工業統計

※「-」は該当数値なし、「X」は、集計対象となる事業所が1又は2であるため、これをそのまま掲げると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿した箇所です。また、集計対象が3以上の事業所に関する数値であっても、集計対象が1又は2の事業所の数値が合計との差し引きで判明する箇所は、併せて「X」としています。

(4) 農業(農家数)

本市の農家数の内訳は主業農家が41戸(全体の3.2%)、準主業農家が106戸(全体の8.3%)、副業農家が506戸(全体の39.7%)、自給的農家が623戸(全体の48.8%)となっています(平成27年)。自給的農家の占める割合が増えています。



出典:世界農林業センサス、農業センサス(各年2月1日現在)

※主副業別は、農業所得と農業労働力の状況を組み合わせて農業生産の担い手農家をより鮮明に析出する農家分類

- ・ 主業農家とは農業所得が主(農家所得の50%以上が農業所得)で、65歳未満の自営農業従事60日以上の方がいる農家
- ・ 準主業農家とは農外所得が主で、65歳未満の自営農業従事60日以上の方がいる農家
- ・ 副業農家とは65歳未満の自営農業従事60日以上の方がいない農家(調査期日前1年間に農産物の販売を行わなかった農家を含む。)

※平成17年は、旧西脇市と旧黒田庄町を合計したもの、平成22年以降は新「西脇市」のものです。

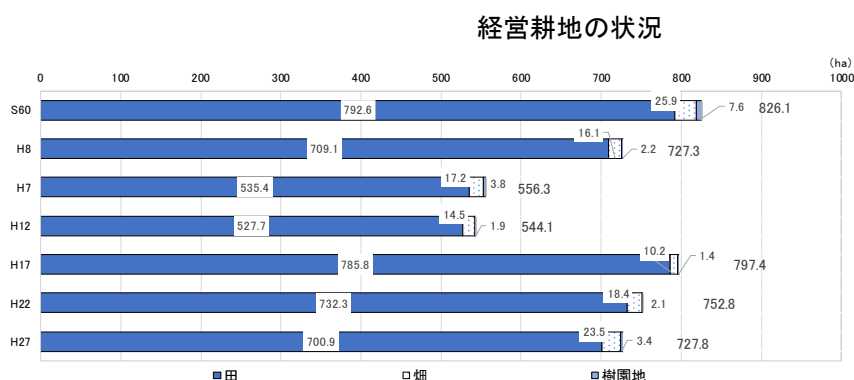
農家数割合表

年	H7	H12	H17	H22	H27
主業農家	2.2%	1.8%	2.6%	3.4%	3.2%
準主業農家	6.5%	9.6%	7.9%	7.6%	8.3%
副業農家	51.4%	46.4%	44.8%	43.0%	39.7%
自給的農家	39.9%	42.1%	44.7%	46.0%	48.8%

出典:世界農林業センサス、農業センサス(各年2月1日現在)

(5) 農業(経営耕地の状況)

本市の経営耕地の状況は田が700.9ha、畑が23.5ha、樹園地が3.4haとなっています(平成27年)。



出典:世界農林業センサス、農業センサス(各年2月1日現在)

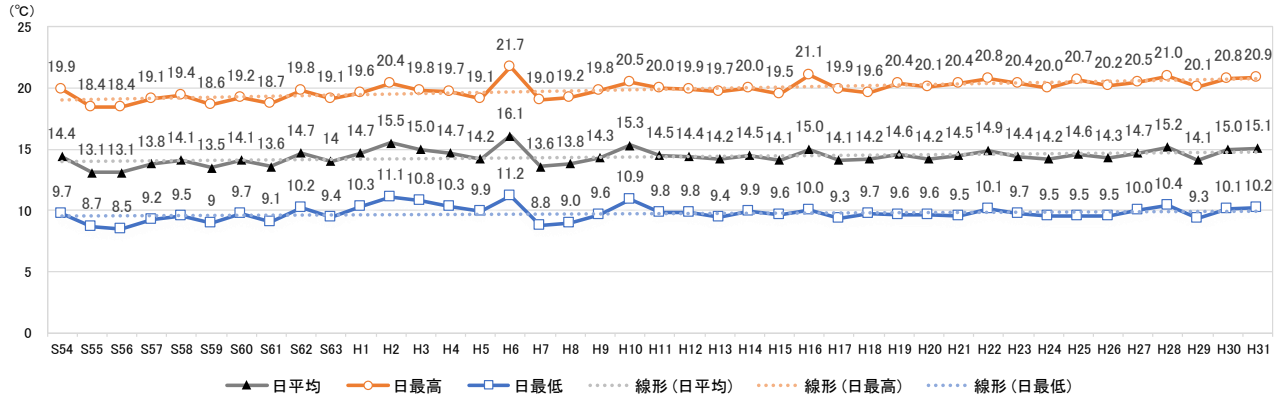
※平成17年は、旧西脇市と旧黒田庄町を合計したもの、平成22年以降は新「西脇市」のものです。

4. 気候

(1) 気温

本市の年間の日平均気温は15.1℃、日最高気温は20.9℃、日最低気温は10.2℃となっています(平成31年)。日平均気温は昭和54年値から現在までに1～2℃ほど上がっています。

気温

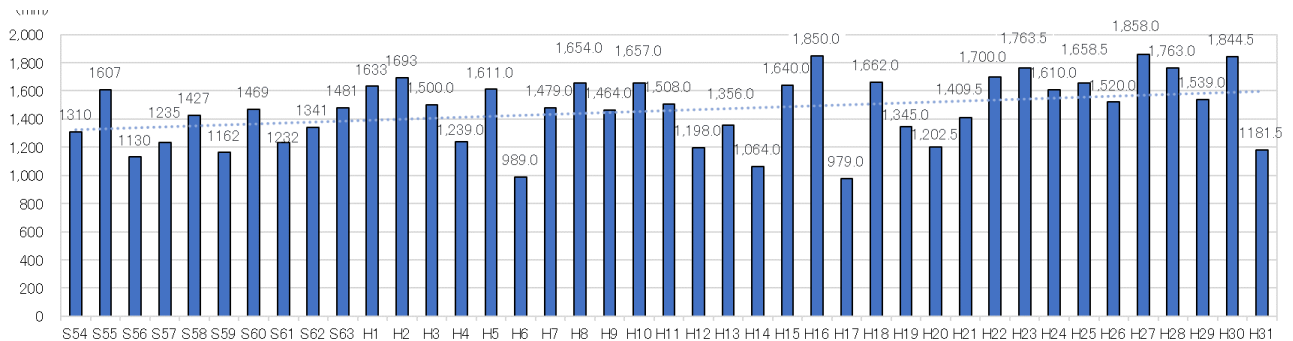


出典: 気象庁ホームページ(西脇観測所)

(2) 降水量

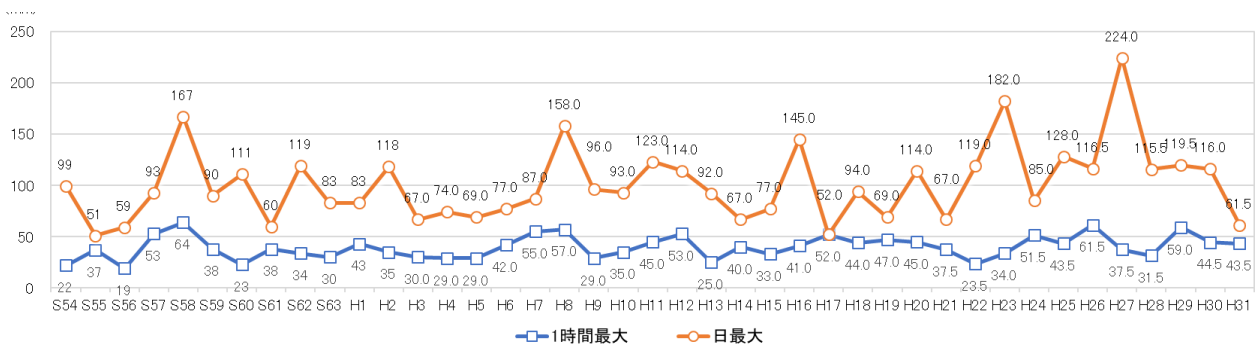
本市の年間の降水量は1181.5mm、日最大降水量は61.5mm、1時間最大降水量は43.5mmとなっています(平成31年)。

年間降水量



出典: 気象庁ホームページ(西脇観測所)

1日の最大降水量と1時間最大の降水量

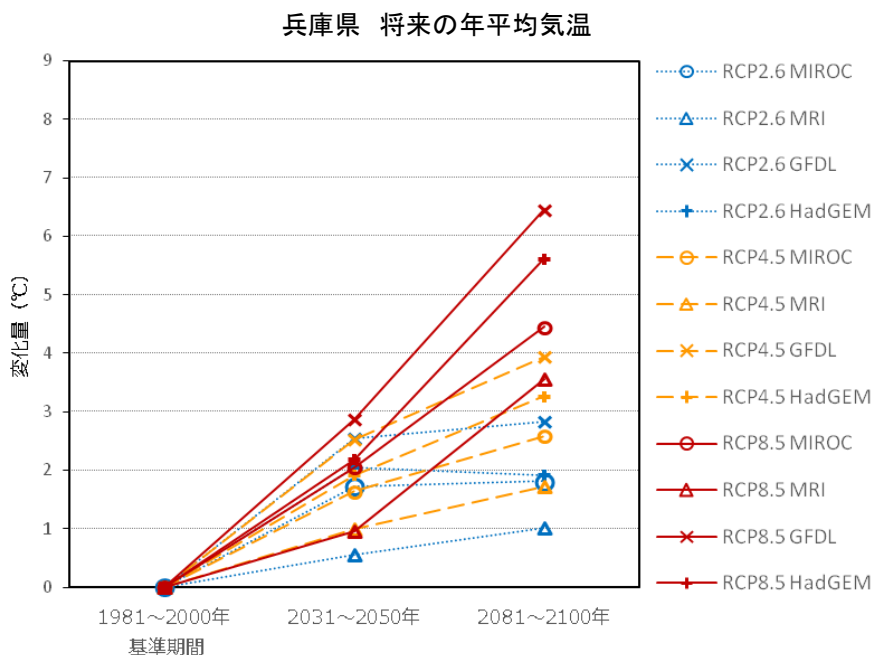


出典: 気象庁ホームページ(西脇観測所)

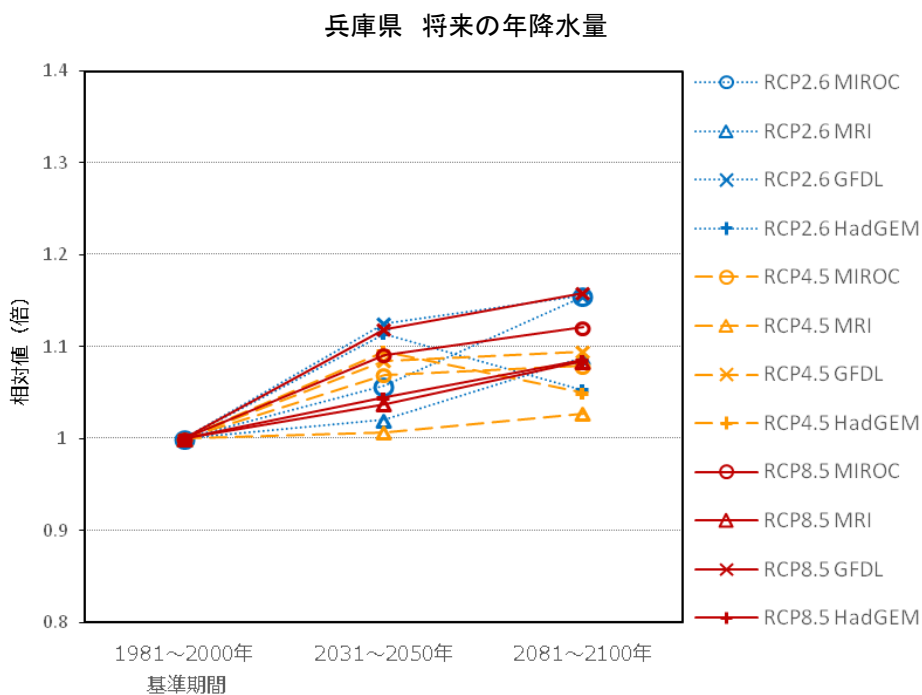
(3) 将来予測

兵庫県の将来の年平均気温の変化について、21世紀半ばでは約0.5℃～3℃、21世紀末では、約1℃から6℃以上の変化が予測されています。気温上昇の予測幅は、幅があり不確実性がありますが、いずれにせよ、気温が上昇していくことが明らかとなっています。

降水量については、変化量として最大約1.15倍の将来予測となっています。



出典:気候変動適応情報プラットフォーム(A-PLAT)ホームページ「将来予測:S-8による研究成果 2016年公開版」



出典:気候変動適応情報プラットフォーム(A-PLAT)ホームページ「将来予測:S-8による研究成果 2016年公開版」

5. 西脇市地域の所得循環構造

(1) 所得循環構造

本市の民間への消費の流入は約44億円(消費の約3.5%)、エネルギー代金の流出は約67億円(GRPの約5.7%)、民間投資の流出は約62億円(投資の約18.8%)となっています(平成25年)。

また、再生可能エネルギーのポテンシャルは地域で使用しているエネルギーの0.21倍となっています。

西脇市地域の所得循環構造

	民間への消費の 流入出	エネルギー代金の 流出	再生可能エネルギー ポテンシャル	民間投資の流入出
西脇市	約 3.5%流入 (約 44 億円)	GRP の約 5.7% (約 67 億円)	約 0.21 倍	投資の約 18.8% (約 62 億円)
小野市	約 4.9%流出 (約 71 億円)	GRP の約 5.0% (約 93 億円)	約 0.07 倍	投資の約 4.6% (約 21 億円)
加西市	約 4.4%流入 (約 62 億円)	GRP の約 7.4% (約 125 億円)	約 0.10 倍	投資の約 5.4% (約 23 億円)
加東市	約 7.0%流入 (約 97 億円)	GRP の約 4.2% (約 76 億円)	約 0.13 倍	投資の約 1.3% (約 6 億円)
丹波市	約 0.8%流出 (約 16 億円)	GRP の約 6.4% (約 126 億円)	約 0.42 倍	投資の約 10.3% (約 56 億円)
丹波篠山市	約 5.4%流入 (約 74 億円)	GRP の約 5.6% (約 69 億円)	約 0.94 倍	投資の約 15.3% (約 34 億円)
多可町	約 2.2%流出 (約 13 億円)	GRP の約 7.8% (約 35 億円)	約 0.36 倍	投資の約 27.6% (約 37 億円)
兵庫県	約 6.2%流出 (約 9,674 億円)	GRP の約 5.9% (約 10,933 億円)	約 0.17 倍	投資の約 7.6% (約 3,179 億円)

出典:環境省 地域経済循環分析自動作成ツール(平成25年・2013年データ)

